

74. 子どもから高齢者まで使用できる広場を整備

グループ名 宮崎プロバスクラブ
代表者 富士持 吉人

①活動の目的

宮崎市は平成 20 年から「休日学校の広場で遊ばせないのぞ」、代表の私有地を遊び場に開放して、高齢者の生活体験を子ども達に伝える場としています。「高齢者は野外で体を動かし楽しみながら、子どもの心を強く大きく育てる活動」です。子ども達は自分たちの親は忙しいので、「高齢者の豊かな生活体験に学び」強く育つことができるのです。

②活動概要

テレビで放送された「高齢者の生活不活発予防運動（座ったり・寝転んだり・軽く走ったり）、体験学習できるように助成金で野外の運動広場」として整備することができました。

道路から数メートルの位置に「きれいな看板を立て」、通行人の皆さん達も見やすいように、「高齢者の生活不活発予防運動広場」と表現しました。

定期的に万国旗を飾り広場が大きく目立つようにすることで、高齢者も子ども達も嬉しそうに活動しています。

助成金は「予想以上に高齢者や子ども達の心と体を大きく豊かに」育ててくれます。

③決算書

収入 大同生命厚生事業団助成金	100,000 円
支出 看板代	20,000 円
ダイヤモンド・人工芝・万国旗	80,000 円
合 計	100,000 円